

1 事業名

平成28年度教育事業 「体験の風をおこそう」運動協賛事業
「テンパークちゃれんじくらぶ」 ～ドキドキ わくわく・秋～

2 趣旨（事業の目的）

自然体験をとおして、自然を大切に作る心、豊かな感性や思いやりの心を育むとともに、ボランティア高校生・大学生また参加者同士の交流をとおして、コミュニケーションの力を育む。

3 期日 平成28年9月10日（土）～11日（日）

4 参加者 79名（盛岡市・滝沢市・八幡平市・雫石町の小学3～6年生）

5 後援 盛岡市教育委員会，滝沢市教育委員会，八幡平市教育委員会，雫石町教育委員会

6 内容

(1) 日程

日 時	13:00		13:30		13:50		15:00		17:30		18:30		20:00		21:00		21:30	
9/10 (土)		参加者受付	はじめの会	ドキドキ! (0_0) フレンドリーゲーム	わくわく! 0(^-^) 「秋のごちそう」 クッキング	夕食	オータム (≧▽≦) キャンプ ファイヤ～!	入浴	就寝準備	就寝								
日 時	6:30		7:00		7:30		9:00		12:00		13:00		14:00		14:30			
9/11 (日)	起床	洗面	つどい	朝食	点検	キラキラ! (☆。☆) メモリークラフト	昼食	片づけ	終わりの会	解散								

(2) 指導者

国立岩手山青少年交流の家

副主任企画指導専門職

佐々木 真里子

企画指導専門職

鎌田 信 浩

事業推進係

山崎 啓 陽

事業推進係

高橋 知 也

指導補助

法人ボランティア

13名

(3) 企画のポイント

今年度は、秋をテーマにした活動を企画立案した。企画立案に際して、法人ボランティア向けの事業「ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクト」において、年度当初から4回にわたり企画会議、事前準備を行った。参加した小学生が、安全に楽しく2日間を過ごせるように、体験活動支援セミナーに参加している高校生や大学生を、グループリーダーとして配置し、高校生や大学生とのふれあいや体験活動をとおして、友達作りや班で協力することの大切さを学ぶことのできる機会を提供した。

今回は、それぞれの活動において秋を感じながら参加者同士のコミュニケーションが図れるような工夫を行った。「ドキドキ！フレンドリーゲーム」では、初対面の参加者の緊張を解きほぐすアイスブレイクを行った。その後の「わくわく！『秋のごちそう』クッキング」では、秋の味覚であるさつまいもと鮭を取り入れて、さつまいもカレーとご飯、鮭のホイル焼きを各班で協力して調理し、

『秋のごちそう』を楽しんだ。夜は従来のキャンプファイヤーとは一味違う「オータムキャンプファイヤー！」を行った。キャンプファイヤーには、宇宙人を登場させるなど、企画の法人ボランティアのアイデアが光った。「キラキラ！メモリークラフト」では、思い出を形にするクラフトに挑戦した。野外炊事の時の班の思い出の写真を自分が作った写真立てに入れてみた時の子供達の顔はとても満足げな表情であった。

活動全体をとおして、秋を感じながら、班ごとのコミュニケーションが深まるように、先輩法人ボランティアがプログラムを構成した。

(4) 広報のポイント

年度当初から、当施設ホームページに事業日程を掲載してきた。また、盛岡市、滝沢市、八幡平市、雫石町の教育委員会教育長、盛岡市、滝沢市、八幡平市、雫石町の各小学校と報道機関へ開催要項とチラシを送付した。目を引くような構成にしたチラシも、参加者が増加することに効果があった。

(5) 運営のポイント

小学生7～8人の10グループに、体験活動支援セミナーの参加者を2～3名ずつグループリーダーとして位置づけて、小学生の参加者が不安を抱くことがないように、あたたかく迎え入れるようにした。また、班が早く仲良くまとまるようにグループリーダーが率先して話しかけるようにした。グループリーダーがうまく話しかけられないでいる班には、企画・運営にかかわるボランティアにコミュニケーションのきっかけをつくるようになどの配慮もした。班の仲を深めることで、参加者がより楽しく活動できるように配慮した。

また、階層型組織キャンプを構成し、本部ミーティング、スタッフミーティング、スライドショー撮影ミーティング、生活班ミーティングなど役割を明確にした組織運営体制を敷き、安全に留意したプログラム展開を実践した。(補足資料1を参照)

7 成果とその普及

テンパークちゃれんじくらは、以前も参加して楽しかったので、今回も是非参加したいという参加者が約半数を占め、人気の高い期待されている事業となっている。昨年度の反省を受け、法人ボランティアが企画立案する時期を早めた。そのことで、子供達の手元に届く広報チラシの内容は、具体的な内容にすることができた。リピーターだけでなく初めての子供達の参加も多かった。

子供達の中には、はじめは不安や緊張を感じていたところもあったが、各グループのリーダーや仲間とかかわる中でうちとけ、仲良く活動を楽しむ姿が見られた。子供達がグループリーダーに親しみをもってかかわっていくことで、グループリーダーたちも次第に自信をもって、子供達とかかわるようになっていくなどの相乗効果も見られた。クラフトが早く終わった時に、ゲーム等をとおして交流を深めることができた。さらに昼食後、班毎に遊びを工夫してグループリーダーと班の友達と楽しく過ごすことができた。

参加者のアンケートから「友達がいっぱいできて楽しかったので、また来たい。」「初めは緊張していたけれど、お兄さんやお姉さんが優しくて安心した。たくさん友達ができた。」「みんなで助け合いながら活動できて楽しかった。」「みんなでつくったご飯を、みんなで食べてすごくおいしかった。」などの感想が多く寄せられた。さらに、活動中の子供達の様子からも、今の子供達に欠けているといわれるコミュニケーション能力の向上にもつながったのではないかと考える。1泊2日という短い期間ではあるが、十分に満足できる活動を提供できたものとする。

8 今後の課題

グループリーダーだけでなく、参加者である子供達も主体的に行動できるように、活動に対しての安全面や見通しを持たせる必要がある。

2日間と短い期間ではあるが、リーダーや子供達がグループで工夫をして活動できる時間などを設定できれば、さらにコミュニケーション能力の向上につながると感じた。



わくわく!0(^-^o
「秋のごちそう」クッキング
(野外炊事)



オータム(≧▽≦)
キャンプファイヤ〜!
(キャンプファイヤー)



キラキラ!(☆.☆)
メモリークラフト
(クラフト)

補足資料1 テンパークちゃれんじクラブ及び体験活動支援セミナー 組織図

テンパークちゃれんじクラブ及び体験活動支援セミナー 組織図

【各階層の役割】

本部MT…全体の最終判断を行う。

アドバイザーMT…各活動プログラムの運営に際し、状況確認と人員配置等の動線の最終決定をする

スタッフMT…各活動プログラムの運営に際し、状況確認と人員配置等の動線の最終決定をする。また、各活動プログラムの補助スタッフとして、主に物品の準備等を行う(自らの担当の時間帯はスタッフに指示を出すリーダーとなる)

生活班MT…主に子供の状況把握に勤める。健康状態や怪我、安全確保について情報を集約する。点呼や様々な相談は迅速に統括チーフに情報を伝達する

スライドショー撮影MT…写真の撮影及び選定、スライドショーの作成を行う

生活・活動班の役割 … 班の子供の安全管理及び生活指導を行う。

①人数把握をこまめにする

②自分自身が模範となり、生活指導を行う(食事、入浴、ベッドメイキング、活動場所の使い方等)

③心と身体の安全を確保する

④自然の中で、十分楽しませる

⑤些細なサインを感じる

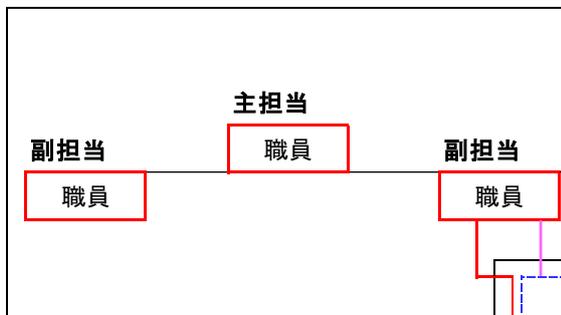
※点呼の報告は統括リーダーに伝える。子供との関わり方等の悩みや相談は統括リーダー、統括チーフが対応

その他、キャンプ中に発生する様々な事象について、統括リーダー→統括チーフ→本部MTの順で情報共有を図る

スタッフミーティング

フレンドリーゲーム	「秋のごちそう」クッキング	オータムキャンプファイヤ〜	メモリークラフト	スライドショーMT
法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ
法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ
法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ	法人ボラ

本部ミーティング



スライドショー
作成の手順

プレゼン作成ソフト
を使用
チームで全体の構成を練る
↓
カメラスタッフが撮影し、良い写真を選定する。
(各プログラム30枚程度)
↓
編集チーフがPCを使って作業
↓
完成

生活班ミーティング



生活・活動班

- 1班
- 2班
- 3班
- 4班
- 5班
- 6班
- 7班
- 8班
- 9班

体験活動支援
セミナー参加者
各班2〜3名